

海外出張報告（イズミール工科大学でのSSSVプログラム）

著者	本山 英明
雑誌名	技術報告
巻	25
ページ	43-46
発行年	2020-03-01
出版者	静岡大学技術部
URL	http://doi.org/10.14945/00027084

海外出張報告（イズミール工科大学での SSSV プログラム）

本山 英明

静岡大学 技術部 ものづくり部門

1. はじめに

本学の海外研究室交流プログラム（SSSV）により、2019年9月にトルコ共和国のイズミール工科大学へ研究室の学生が研究交流のため訪問しました。教員と共に学生を引率しました。今回はトルコの大学の様子、学生の発表等を紹介いたします。

2. 今回の出張について

2.1 海外研究室交流プログラム（SSSV）について

SVは海外訪問（Short Visit）で SSは海外学生受け入れ（Short Stay）です。今回はSVです。

学生が同世代の海外の学生と交流することで、外国語能力、発表討論能力を身に付け、将来、国際的な立場で率先して活躍できる人材になるためのステップとしての位置づけです。

事前に英語のプレゼンテーション、異文化コミュニケーション、安全講習の事前講習を受けて、研究室で英語での研究発表原稿の作成、発表の事前練習を行います。現地で英語による発表会と現地学生との交流を行います。平成23年度からスタートして約5年で300名の学生を派遣しています。海外からも90名の受け入れを行っています。今年度はSV12件(インドネシア、マレーシア、スペイン、英国、ドイツ、ハンガリー、オーストラリア、台湾、ウクライナ、インドネシア、トルコ等) SS 1件(中国) が実施されました。

2.2 プログラム日程参加者について

日程：2019年9月7日（土）-17日（火）

参加者：機械工学科 Moghtada Mobedi 教員、佐野吉彦 教員 技術部 本山

Mobedi 研究室：博士課程 1名 4年生 1名

桑原・佐野研究室：大学院 3名 合計 8名

訪問先：トルコ共和国 イズミール工科大学

9月7日（土）中部国際空港（19：00）出発の予定であったが、台風のため 関西空港出発（20：00）
へ変更ソウル(8日10:00発)、イスタンブール(8日16:00着) 経由 イスタンブール 21：00発

9月8日（日）23：00 トルコ イズミール 到着

9月9日（月）ウェルカムセミナー（静岡大学、イズミール工科大学の紹介、研究室の紹介および SSSV の趣旨説明）
静岡大学、イズミール大学教員、学生出席

大学学長室訪問 2大学 研究討論

9月10-13日 セミナー（研究発表および質疑応答 及び 討論

静岡大学 2名 イズミール工科大学 2名 発表 研究室見学

9月14日（土）セミナー 日本とトルコの教育の違いについて 講師モバディ教員

2大学 研究討論

9月15日（日）フリータイム

9月16日（月）5：00 イズミール 出発 イスタンブール（18:00発） ソウル（9：20着） 経由

9月17日（火）ソウル発 16：00 中部国際空港 到着

2.3 イズミール工科大学の訪問のきっかけ

2015年2月より Moghtada Mobedi 先生がグローバル推進機構（ABP 修士の学務、講義を担当）に採用されました。今年の4月より工学部の機械工学科に移籍し、研究室もできました。

この先生はイズミール工科大学で教員をしていました。研究室の研究分野が同じで、2010年に研究室に1か月ほど研究者として来日されていました。

この大学から3名の学生が総合科学技術研究科機械工学コースのABP 修士として修了しました。内2名は先生の教え子の学生です。現在も1名の学生が在籍しております。

このような縁から、先生の出身大学へ今回のSSSVプログラムで訪問が実現いたしました。

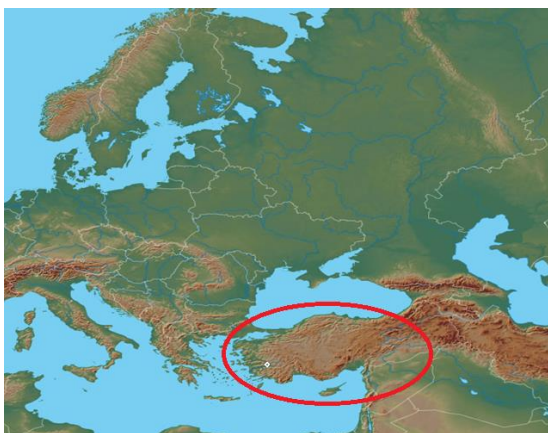
2.4 イズミール工科大学への訪問の決定まで

トルコはSSSV支給予算を少し超える地域でした。

直行便でなく経由便なら旅費を安くできる（約10万円の差額）、宿泊もあまり高価でない。今回は9月から11月実施を予定していましたので4月ごろから情報収集をしていました。

SSSVの申請が5月末までなので、それまでに、相手の大学との大まかな交渉しておく必要があります。申請に採択されてから、相手の大学と実際の実施時期（日程）を決める必要があります。日程が決まればすぐに航空便の予約、宿泊の予約します。今回は台風で行きの行程が変更になりました。（名古屋-ソウル便が関西国際空港-ソウル便へ）8-9月の台風シーズンは運に任せるしかありません。今回は何とか日程変更なしで実施することが出来ました。当日出発直前の変更でしたので、旅行会社との連絡、旅行者全員との連絡が大変でした。

2.5 トルコ共和国について



日本から 8962 km

飛行機で約 13 時間（成田）今回はソウル
経由で約 36 時間 首都：アンカラ

国土面積：783,562 km²（世界 37 位）日本の
2 倍（世界 61 位）

人口：7562 万人（世界 19 位）日本 1 億 2353
万人（世界 11 位）2010

時差：UTC+3（EET）日本（JST）との時差
-6 時間

言語：公用語 トルコ語

主な産業：工業：繊維・衣類分野の輸出大国、

ヨーロッパ向け自動車輸出 トヨタ自動車、フィアット、ルノー 農業（人口の 40% 従事）

1 人当たりの GDP9346 ドル（世界 68 位）日本 39306 ドル（世界 24 位）（IMF2018）



2.6 イズミール市について

イスタンブールから航空機で約 1 時間

人口：約 400 万人 トルコ第 3 位

気候：地中海気候 トルコ第 2 の港湾

主な産業 日系など外資系を含めた製造業

観光地 チェシメ（港町、城塞）エフェソ（古代遺跡）

2.7 イズミール工科大学 (IYTE)について



設立 1992年 1998年から学部生
入学

トルコ州立大学 講義は英語

住所：İzmir Yüksek Teknoloji Enstitüsü,
Urla 35430

面積：大学全体 約3500ヘクタール
最初はイズミール市内にあったが、
1999年イズミール郊外のウルラへ移
転 イズミール市内から車で約1時間

2.8 学生数 (2011)

学部生 男 1314名 女 1114名 合計 2458名/ 大学院 男 391名 女 392名 合計 723名
Ph.D. 男 109名 女 159名 合計 268名 TOTAL 男 1815名 女 1634名 全人数 3449名
男女の比率が同じくらいです。 外国人 99名 33か国 (5383名内学部 3851名) 最新データ

2.9 大学の構成

学部は3学部あります。理学部、建築学部、工学部 工学部は下記の6学科あります。

Dept. of Chemical Engineering (化学工学科)、Dept. of Civil Engineering(土木工学科)

Dept. of Computer Engineering (コンピュータ工学科)、Dept. of Electrical & Electronics Engineering(電気電子工学科)、Food Engineering(食品工学科)、Mechanical Engineering(機械工学科)

修士課程、博士課程 講義はすべて英語で行われています。

1年間は基礎的な教科を英語で受講 最後に試験があり合格しないと留年になります。

2.10 工学部機械工学科について

18の研究室があります。当研究室に関連する研究室は Heat and Fluid Sciences (熱流体科学) と Heat Laboratory(熱工学研究室)になります。

2.11 学長室訪問 (Prof. Dr. Yusuf Baran)

9月9日に学長室を訪問し静岡大学、研究室の紹介およびSSSVの趣旨説明を行いました。



2.12 研究発表会

静岡大学 5名 イズミール工科大学 7名の研究発表を実施しました。



2.13 研究室見学

機械工学科内の研究室を見学しました。先端の研究も行われています。日本製の測定器も使用されていて、興味深いものがありました。



2.14 おわりに

今回 SSSV に参加して、トルコの大学の施設、研究室を見学して大変有意義でした。

ABP 修士の入学プログラムを紹介してきたので、今後さらにこの大学からの留学生が入学してくれることを期待します。往復の移動だけで計4日もかかり、トルコは大変遠い国であることを実感しました。

3. 謝辞

IYTE の先生方（静岡大学の先生方にも）には大変お世話になりました。ありがとうございました。

受け入れ担当教員 Associate Prof. Unver Ozkol Associate Prof. Murat Barisik

Associate Prof. Erdal Cetkin Associate Prof. Can Dede

Associate Prof. Gokhan Kiper Prof. Dr. Yusuf Baran

静岡大学 桑原不二郎 教授 佐野吉彦 准教授 Moghtada Mobedi 准教授

4. 参考文献・引用文献

[1] ウィキペディア:トルコ共和国、イズミール

[2] IYTE 紹介ホームページ